



DF 技術部会瓦版第17号

発行：2012年9月2日

世話役：森山 健一

編集・文責：保坂 洋

8月例会報告：2012年8月24日(金)14時30分－17時00分 東京ウィメンズプラザ(青山)

懇親会：17時－19時過ぎ 外苑飯店 出席者数 例会：22名、懇親会：12名

【目次】

1. 講話：経営のリバイバルとサバイバル 大石 次郎氏(元(株)バンテック 執行役員、元日産自動車(株))
2. 分科会報告など
 - (1) 理科実験 G(萩原 L) (2) 日本は何を目指せば生き残れるか(浅野 L)
 - (3) リスクセンス研究会(中田理事) (4) 企業支援事業部の紹介(熊谷事業部長、横内氏)
3. 新しい仲間のご紹介：神永 剛氏
4. 編集後記(森山世話役)

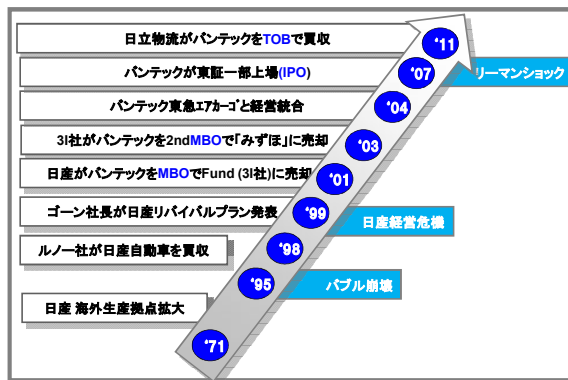


講話：経営のリバイバルとサバイバル

講師：大石 次郎氏 (元(株)バンテック 執行役員、元日産自動車(株))

大石次郎氏から、ご自身の体験された示唆に富んだ興味深い講話をいただきました。生々しいお話を記載できないのは残念ですが、以下はスライドの抜粋です。

(経営のリバイバルとサバイバル、そして資本政策の道のり)



経営のリバイバルとサバイバル

テーマ：経営で経営者が最重要と考えていることは？

2012年8月24日(金)
大石次郎

経営で経営者が最重要と考えていることは何か？

日産とバンテック社の経験に基づいて・・・。

1. 松田武彦氏(元東工大学長)から学んだこと

企業は適正利益を得て、存続することに存在意義がある。

その為には「適正な利益」の下で

- ・適切な意思決定
- ・後継者(人材)育成

をすることがトップの使命である。

これらが欠如すると企業及び組織は滅亡する。

意思決定は価値前提(value premises)と事実前提(factual premises)が正確に捕らえられれば正しい意思決定ができるが、これの片方又は双方が曖昧であるとミスジャッジする。

2. 日産リバイバルプランでゴーン氏から学んだこと

- ①「**価値向上**」を意思決定において最重要視
- ②「**目標の根拠**」を明確にすること：説明責任
- ③「**課題ばらし(Large Y → small y)**」の重要性と課題展開
- ④「**測る尺度**」を重視し管理の良否を直ぐに判断すること
- ⑤「**人事評価制度の変革**」：動機付け/意識向上を重視
- ⑥「**良き経営者は良き教育者**」でなければならないこと。

●ゴーン氏の改革のプロセス(計画段階)

ゴーン氏の改革プロセスの意思決定の原点は

- Know what. Know who. Know how**を重視。
考える順番も重要視した。(昔の日産は逆から入っていた)
- ①**目標の根拠を明確(What)**
 - ・BM (Bench-marking)・CFTで課題をセット
- ②**誰が出来るのか「場」を与える(Who)**
 - ・経験/技能/能力を重視した対話と面接
 - ・NAC (Nominated Advisory Council)の導入
- ③**方策のセット(How)**
 - ・CFT(課題バラシ)の導入と課題のトップダウン
 - ・V-upプログラムの開発と実行

●ゴーン氏の改革のプロセス(実行/評価段階)

- ①**解決手法は全世界からベストを集める。**
 - ・シックスシグマ
 - ・TQM手法による改善(QCサークルの尊重)
- ②**意識向上は人事評価制度の改革が第一**
 - ・コミットメントとターゲット
 - ・帰属性と職務能力
- ③**良き経営者は良き教育者であること。**
 - ・ManagerにCoachやMentorが必要

実行段階では、上司は「場」の提供、そして常に教育者たれ！

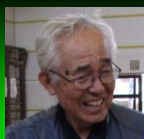
3. パンテック社のサバイバルでA氏(元社長)から学んだこと

- 自らが会社に投資し、自らが意思決定する妙味とリスク
 - ・**オーナー経営感覚の醸成**(意思決定には裏づけとスピード)
 - ・言い訳は効かない
- 外資系Fundとグローバル顧客への対応
 - ・物流はボーダレスだから、いつ何時M&AIに逢うかだから、**グローバル対応出来る人材の育成と確保**
- 物流の改善は無限
 - ・物量さえ確保できれば、知恵は無限
 - ・高い目標ほど良い知恵がでる。(但し、毎年は出来ない)

経営のリバイバルとサバイバルの根幹(結び) (松田氏、ゴーン氏、A氏の共通点でもある)

- 「**リーダーの適切な意思決定**」の重要性
 - ・「What」の目で見える意思
 - ・目標(価値)の設定と事実(現状)認識
 - ・リーダーシップとコミュニケーション
- 「**意図的な人材育成**」の重要性
 - ・リーダーは意図的に育成(放牧では育たない)
 - ・能力の見極めと「場」の提供
 - ・教育は経費ではなく投資





分科会報告:理科実験グループ

萩原 秀留リーダー

理科実験グループ活動報告

平成24年6月29日～8月24日

出前19回

理科実験グループ

6月30日	科学技術館	常設館
7月6日	旭日学園 千葉	その他
7月10日	滝沢学園 千葉	その他
7月13日	後山小学校 新潟	遠隔地
7月14日	奴奈川小学校 新潟	遠隔地
7月18日	白山小学校 宮城	遠隔地
7月19日	松宮小学校 宮城	遠隔地
7月23日	上石神井小学校 練馬	放課後教室
7月27日	国分寺第8小 国分寺	放課後教室

7月31日	石神井小学校 練馬	放課後教室
8月1日	港南小学校 港区	放課後教室
8月2日	並木第四小学校 横浜	放課後教室
8月10日	上矢部地区センター横浜	地区
8月11日	南林間 大和	地区
8月14日	東京国際フォーラム	イベント
8月15日	東京国際フォーラム	イベント
8月16日	東京国際フォーラム	イベント
8月19日	上石神井小学校 練馬	放課後教室
8月22日	新丸ビル 千代田	地区

気仙沼市から6校以来あり 下記のとおり実施及び実施

白山小学校	7月18日
・松宮小学校	7月19日
・大島小学校	10月31日
・鹿折小学校	11月1日
・階上小学校	12月4日
・小原木小学校	12月5日



丸の内キッズジャンボリー 2012

東京国際フォーラム

8月14, 15, 16日東京国際フォーラム主催のキッズジャンボリー2012に参加。1ホール借り切った出前実験実施。
午前は低学年で冷却パック、墨流し、表札を参加者全員が実施。
午後は初日がエタノールで船をはしらせよう。中日が紙飛行機を飛ばそう、最終日が電池を作ろうを、高学年に実施。



NHKおはよう日本

7時22分から放送

8月15日朝



23年度実績		神奈川地区出前先
常設館	10	・ 神奈川地区 8箇所 ・ 美しが丘中学(横浜) ・ 谷本中学(横浜) ・ 並木第四小学校(横浜) ・ 上矢部地区センター(横浜) ・ 南林間地区地域教育活性化会議(大和市) ・ 茅ヶ崎台小学校(横浜) ・ 新羽小学校(横浜) ・ ビーコン子ども会(横浜)
放課後教室	18	
地区センター	3	
遠隔地	12	
イベント	5	
授業	13	
その他 先生	2	
不登校高校生	2	
計	63回	



検討経過報告(その12)「日本は何を目指せば生き残れるか」

浅野 応孝リーダー

1. 検討会の経過

- 2010年6月22日 技術部会にて提案で発足
- 2011年12月22日 中間報告としてこれまでのまとめを行い、技術部会で報告した。
- 2012年度も下記のテーマで継続して討議を開催する

2. 本年度の取り組み

ー議論の対象

¶ 産業に影響を与える要因について、その実態を理解する

例えば、TPP、FTA、等の自由貿易構想のそれぞれの要素についての理解

エネルギー問題、農業問題、各種資源問題、医療介護問題等の各論を掘り下げる

¶ 産業界で起こるトピックスについて、適時に討議する

3. 2012年の開催実績と予定

第18回(済):2月27日(月)望月 直躬さん「TPPの課題と現状について」

第19回(済):3月16日(金)酒井尚平さん「TPPと農業問題について」

第20回(済):4月18日(水)池上眞平さん「企業の興亡 富士フィルム&EK」

第21回(済):5月23日(水)飯田孝司さん「原子力とエネルギー問題」

第22回(済):6月22日(金)七字佑介さん「高齢化社会と都市問題」

第23回(済):7月20日(金) 野村眞弓さん「2035年の医療と日本医療の課題」

第24回(予定):8月28日(火) 14時30分～ DF会議室

講師 東レ 矢野保さん「水資源の現状と課題」

第25回(予定):9月28日(金) 14時30分～ DF会議室

講師 日本工業技術振興会 未来農林事業開発研究会会長 松井武久さん

「日本農業の将来についてー技術的視点よりー」

第26回(未定):10月X日

第27回(予定):11月X日

講師 山形大学大学院 理工学研究科 准教授 立花 和宏さん

「電池の現状と将来(仮題)」

- 第X回 日程未定 山之内さん「航空機産業の盛衰」
 第X回 日程未定 浅野「太陽光発電の現状と課題」
 第X回 日程、講師未定 検討中「レアアース資源問題について」

ここまでの議論は、興味あるテーマで時間が不足する位盛り上がりのある討議ができたこと、講師の皆様
 に感謝申し上げたい。

今後も時節に合った良い討議が進められるよう、テーマと講師の自薦他薦をお願いしたい。

経過報告とお願い：NPO リスクセンス研究会

同研究会副理事長：中田 邦臣氏



現在の進捗状況

「リスクセンス検定®」への支援のお願い

H24-08-24
 NPOリスクセンス研究会
 中田 邦臣

リスクセンス検定®の目的

組織運営の上でのリスクに対する感度を向上させることに資する。

→ 組織人と組織に関する2種類のリスクセンス検定を行い、数値化されたリスクの認識力、対応力をベースに各組織に於けるリスクマネジメント体制の強化に資することを目的とする

注：当面はオペレーション及びコンプライアンス分野を主とし、財務及び戦略に関する分野は除く

1 現状

①過平成23年2月26日に検定の実施団体である「リスクセンス研究会」のNPO設立総会を開催し、内閣府へNPOの認証申請

(注：中田は事務局の担当)
 DF技術部会から理事に保坂洋氏 就任

→ 平成23年9月9日付け内閣府認証

「リスクセンス研究会」のメンバー 16名

東工大
 LCB研究会
 榎大空社
 DF技術部会 有志

②3月11日「リスクセンス検定」委員会 活動開始

→ 3つの小委員会を発足

第1小委員会 産業分野 (保坂理事が委員)

→ 3月末までに試行実施 宇部興産グループ(宇部マテリアル)及びクレハグループ(クレハ環境、クレハ分析センター)、中堅化学会社ケミクレアの計4社、4月から有料 宇部マテリアルズ(宇部工場、美祿工場他)で実施し、受検結果の報告会を実施

10月 旭硝子のグループ会社で実施 決定

第2小委員会 医療・介護分野など新規分野
 趣旨に賛同する大学、病院とコンタクト
 ⇒ 大阪の総合病院と共同研究開始
 ⇒ 事務分野の検定プロジェクトスタート
 ⇒ 後述の10月6日(土)シンポジウムで発表
 ⇒ 医療分野 上尾市の総合病院と共同研究 開始

第3小委員会 検定実施 (保坂理事が委員)

⇒ 平成23年10月29日に検定用参考書発売
 ⇒ 検定実施後のフォロー体制 検討中

お願いしたいこと

・ 当面

個人向け検定問題の作成

条件：検定ビジネスの入金が定常的になるまで無償

・ 長期

ビジネス展開(ものづくり分野)

検定事業、コンサル事業、セミナー事業

分野の拡大

“事務”分野/医療・介護への展開

シンポジウムのご案内 第9回 組織行動と組織の健全性診断システム → オフィス力の低減防止のために

- ・ 日時：平成24年10月6日(土) 13:30～17:00
- ・ 場所：東京工業大学 百年記念館・会議室(定員：80名)
- ・ 「『事務』のリスク低減に向けた『LCB式組織の健康診断®』の活用検討」
 宮崎 敬 氏(エム・ユー・トラスト・アップルプランニング/三菱UFJ信託銀行)
- ・ 「ファシリティマネジメント分野への『LCB式組織の健康診断®』法の活用可能性」
 成田 一郎 氏(公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会)

・ 参加者とのディスカッション

コメンテーター 岡部 豊 氏(元 横浜市保土ヶ谷区長) 他

・ 費用 無料

・ 申し込み 中田またはリスクセンス研究会事務局まで

リスクセンス事務局 (info@risk-sense.net)

中田さんにお申し込みの上、
 是非ご参加下さい。

企業支援事業部のご紹介

事業部長：熊谷 春水氏 & 横内 俊夫氏



2012 年 4 月から事業部再編で新たなスタートを切った企業支援事業部の説明が熊谷事業部長と横内氏からなされました。紙面には掲載できませんが、具体的な支援企業の社名と内容が紹介され、皆様へ支援協力の要請がありました。小粒でもピリリと辛い企業ばかりで、頼もしくまた楽しいご紹介でした。ご興味のある方は、スライド 2 頁記載の担当者までお問い合わせ下さい。

2012年8月24日

企業支援事業部のご紹介

2012年4月コンサル事業部とベンチャー支援事業部が合併、**企業支援事業部**としてスタート

I) 企業支援事業部のチーム構成

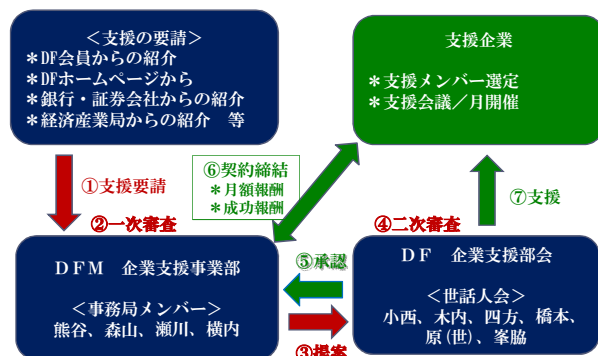
事務局メンバー：熊谷春水、森山健一、瀬川敬一、横内俊夫

A	不動産関連チーム	コンサル	2社	主担当：森山
		ベンチャ	3社	
		計	5社	
B	サービス・営業支援チーム	コンサル	2社	主担当：熊谷
		ベンチャ	11社	
		計	13社	
C	技術・製品チーム	コンサル	1社	主担当：横内
		ベンチャ	9社	
		計	10社	
D	投資ファンドチーム	コンサル	3社	主担当：森山
		ベンチャ	0社	
		計	3社	

支援企業合計：31社（2012年8月24日現在）

II) 企業支援事業活動の仕組み

注) 旧コンサルの一部支援企業には下記スキームは適用されません。



III) 支援企業、最近の傾向（時代の反映）

- | | |
|----------------|-----|
| 1. IT関連の増加 | 11社 |
| 2. 健康への関心 | 3社 |
| 3. 環境問題 | 2社 |
| 4. コスト削減 | 4社 |
| 5. 女性の社会進出と子育て | 1社 |

新しい仲間のご紹

神永 剛さん(入会登録手続き中)

この度浅野応孝さんのご紹介でディレクトフォースに入会させていただくことになりました。先日は入会手続前にもかかわらず技術部会の例会に出席させて頂いた上、懇親会まで参加させていただきました。幅広い産業界ご出身の方々がご退職後も活発に活動していられるのを拝見し驚くと同時に私もその一角に参加させて頂けることを楽しみにしております。



私は終戦の年の4月に父の赴任地であった朝鮮で生まれ、帰国後は大学卒業までほぼ東京で育ちました。化学の道に入りましたのは中学時代化学部に所属してほぼ毎日学校に残り、いたずらを含め種々の実験を通じて化学の神秘に魅せられたからでした。迷うことなく大学で化学を専攻し、日本の化学会社の研究所に3年ほど勤務したのちダウ・ケミカル日本法人に転職しました。ダウでは10年ほどの研究所勤務ののち、企画、営業、事業部の業務を経験しました。企画の仕事では太平洋地区本社の香港で、事業部では米国のグローバル本社の化学品事業本部で勤務する機会を得ました。本社勤務で世界中から集まったビジネスリーダーやトップマネジメントと身近に接するという経験はその後の私の仕事に大きなプラスとなりました。その後ポリウレタンとポリカーボネートの合併会社でダウ代表として勤務する機会があり、パートナーの化学会社のビジネスリーダーの方々と一緒にお仕事をさせて頂いたことは私にとって貴重な経験となりました。浅野さんに初めてお目にかかったのも三菱化学とのポリウレタン合併会社の仕事でした。その後の太平洋地区の特殊化学品事業本部長の仕事では海外の多くのお客さんと仕事をさせて頂き、新しい次元での経験を積むことができました。その時のお客さんの何人かとは引き続き親交を保っています。2002年にダウ・ケミカル日本の社長に就任し営業のみならずすべての分野のスタッフと仕事をしたことは私の視野を広げてくれました。相談役として後任社長を補佐したのち2010年6月にダウを退職しました。振り返ってみるとダウ勤務も39年の長きにわたっていました。

退職後個人事業としてコンサルタントを始めプレゼンテーションスキルのトレーニング、事業戦略コンサルティング等をしてきました。最近定期的なコンサルティングの仕事が終わり、仕事量が減ったとき、このまま下手の横好きのゴルフと、素人写真と、旅行だけでは頭が鈍ってしまうと心配になりました。これを機に、今までの経験を伝えて次の世代の育成をできないかと考え始めていた時に、浅野さんからディレクトフォースの理科実験グループのお話を伺いました。私の中学時代の経験と次世代の育成の希望とが一つに重なり、実験を通じて子供たちに理科に興味を持ってもらうことは昨今問題視されている理系離れに少しでも歯止めをかけることにつながるのではないかと考え参加させて頂くことにいたしました。

どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

世話役：森山 健一



ロンドンオリンピックのメダリストたちの祝賀パレードが、8月20日銀座で盛大に行われた。50万人の大観衆が、史上最多の38個のメダルを獲得した選手たちの活躍を大いに称えた。若い選手たちの台頭は、日本に明るさをもたらしてくれたのは間違いない。

開催国英国も多くのメッセージの発信に成功した。金メダル獲得数3位、29個は英国人たちにも予想を超えるものでは、なかったろうか。開会式では、英国は、現代では『ハリーポッター』で代表される児童文学の国であることをアピールした。また、会場設営では、環境に配慮した、徹底的なリユースが実行された。このような英国

のメッセージは、バブル崩壊また戦後の数多くの積み残しにあえぐ日本が見据えるべき点がいろいろあったのではなかろうか。

暑さがなかなか収まりませんが、夏バテからそろそろ脱出したいものです。

さいごに10月の見学会に触れたいと思います。今回訪問するのは、福島県小名浜市の小名浜製錬株式会社です。同製錬所は、2003年に3R経済産業大臣賞受賞の都市鉱山対応の製錬所であり、発生廃自動車シュレッダーダストの15%を処理しています。また、

3. 11では甚大な被害を受けられましたが、7月には再開を果たすという素晴らしい力を示されました。技術部会の我々にも勇気と、いろいろな示唆を与えてくれるのではと思っております。地元の農業・漁業の復興状況も関心をもたれるところであります。奮ってご参加ください。

【次回 10 月合宿例会予定】

10 月 17 日(火)、18 日(水): 一泊二日

見学先:小名浜製錬株式会社(福島県いわき市) 17 日、打合せ 13:00 - 14:00, 見学 14:00 - 16:00

懇親会&宿泊:小名浜オーシャンホテル

18 日:親睦ゴルフ大会「小名浜オーシャンゴルフクラブ」

交通:上野発 10 時 00 分スーパーひたち 15 号 泉着 11 時 55 分が便利

後日、ご案内いたしますので、奮ってのご参加をお待ちしています。

* 12 月例会 & 忘年会予定(手帳にマークしておいて下さい。)

12 月 20 日(木) 午後 2 時 30 分～ (昭和大学)